

第3日（9月17日）

7 藁科寧之 議員（質問方式 一問一答）

答弁を求める者 市長

1 公共交通ネットワークの整備について

誰もが暮らしやすく、誰もが移動しやすい交通環境の充実について

「市民が暮らしやすく 誰もが移動しやすい 交通環境が充実したまち やいづ」の基本理念のもとに地域公共交通の活性化及び再生に取り組んできて頂いております。

しかし、最近、私たちの生活環境は目まぐるしく変化し、特に交通弱者の立場の方々、高齢者の皆さま方におかれては日常の移動手段に苦慮をされております。

交通弱者の立場の方々、高齢者の皆さま方、遠隔地域に居住する市民にとりましては公共交通の充実に期待する思いは今後、益々、高まってくるものと思います。

公共交通、充実の課題は早めに解決をすべき重要な課題であります。

誰もが暮らしやすい安全で安心なまちづくりに向け公共交通ネットワークの充実につきまして次の項目について伺う。

ア 市内、自主運行バス3路線の利用状況について、どのように考察をされているか伺う

イ 市民、利用者は自主運行バスの運行につきまして、どのような公共交通を望まれているのでしょうか

市は、地域や利用者ニーズについて、どのような方法で把握しているのか伺う

ウ 今後の公共交通、自主運行バスの運行検討作業は、どのように進められているか伺う

エ デマンドタクシーの実証試験を行われています。試験、中半の状況ではあります。現時点の実証試験の経過状況について伺う

2 洪水・浸水対策と避難について

(1) 洪水、浸水時における避難所の新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染の拡大が懸念をされる中、台風、風水害の発生時における対策として感染症に配慮した避難所開設訓練にいち早く取り組んで頂き、避難所開設、運営の確認をされました。

今回の訓練は被災者、避難者はもとより避難所運営スタッフの感染防止に努め避難所における感染防止策を徹底しておこない確実な防御体制を整えることが重要であると思います。

本年、全国各地に災害をもたらした梅雨期の豪雨、昨年の秋には市内で台風第19号による浸水被害等から避難所の運営が行われています。

何時発生をかわからない災害、風水害時に備えて以下、台風、風水害時の新型コロナウイルス感染症対応の避難所開設訓練について伺う。

ア 指定避難所の開設、受入れ体制の訓練の実施から、検証の結果はどうであったか伺う

イ 新型コロナウイルス感染対策前と後では各避難所の受け入れの人数に変化があったと思うが避難所内占有スペースのゾーニングから受入れ体制、収容人数はどのように変わったか伺う

ウ 感染対策を踏まえた避難所の開設から運営を考えると職員だけでは対応には限界があるように思います。

設営の段階より運営に至るまで円滑かつ迅速に対策をされる為の配置人員の適切人数はどの程度になるか伺う

(2) 大井川河川防災ステーションの施設整備について

本年の7月豪雨は全国各地に大きな災害の爪痕を残し、多くの人々が被災をされ豪雨、洪水の犠牲となりました。

本市では国と連携し洪水時などの災害応急拠点となる大井川河川防災ステーションの整備を進めています。

多発する豪雨、洪水からの災害の発生状況から本市においても災害防止の備えとして大井川河川防災ステーションの整備促進は誰もが願うところかと思えます。

以下、事業の内容、推進に向けて伺う。

ア 大井川河川防災ステーションの整備事業の進捗状況について伺う

イ 今後の大井川河川防災ステーションの施設整備計画の内容・工程について伺う

ウ 施設周囲の盛り土法面は現在、未処理であるがどのような仕上げになるのか伺う

エ 河川防災ステーションの先進整備地においては本施設をレクリエーションの場として施設利用をされているようですが本施設においてはどのような利用構想を持たれているか伺う

8 岡田光正 議員（質問方式 一問一答）

答弁を求める者 市長

1 焼津市水道事業の経営戦略における危機管理対策の見直しを

焼津市水道ビジョン・経営戦略2020が策定され10年計画が示されました。

内容的にはもっともなこと、今後の予算対応にも可能な範囲で無難な模範的計画であると思えます。

しかしながら、過日の水圧低下による濁水発生などを鑑みるに、急ぐべき問題、対応面での危機管理対応等に私としては何か問題がありそうな気がしており、計画が絵に描いただけに終わらないためにも市のお考えを伺うものです。

(1) 7月15日濁水発生時の対応について

ア 影響世帯17,700、問い合わせ340件とのことだが、影響地域はどこか、問い合わせは主にどんな内容であったのか

イ 水害等では事業所の事業施設等への影響に関する状況把握をするだろうが、本件の場合、状況把握をされているか、苦情などは無かったか（タンク内のさび色になった水を透明になるまで数トンの水を流したので、その間操業ができなかつ

たし、水道代も心配というような話も聞いた)

ウ 同報無線・メールによる情報連絡があまりにも遅くなかったか。停止によるその後の濁水は予想の範囲では無いか、市民に早く、注意喚起をしていただければ洗濯などで衣服に色が付着することも無かったのにと云った声が聞かれました。

市民生活の基盤となる事業における事案です。災害発生時と同じように、危機管理・リスク管理の観点から、市民のためには部署を越えた、横断的な意思決定が求められると思いますが、いかがか

エ 今後各種災害への対応が求められるなか、水道ビジョンにも記載されているように、危機管理対策における各種マニュアルの理解と定期的見直しを具体的にしていって欲しいが、いかがか

(2) 濁水発生により判明した諸問題対策について

ア 3つのポンプが同時に停止するなど今まで考えられなかったのではないか。点検、修繕が的確に行われていたか

イ 今後再発がないようにどう対応していくのか

また、計画的な更新について具体的な計画を立てているのか

ウ 影響世帯17,700のうち8時30頃には全く問題無くなった地域から、夕方まで濁りがあった地域まで様々な状況であったと聞いている。なぜこれだけの差があったのか理由は判明しているのか

エ それらを踏まえて、今後、水道ビジョン・経営戦略に沿ってどのように対応して行くのかを、お聞かせください

2 新型コロナウイルス感染症対策を機会に焼津市の財政支出・総合計画の見直しを

新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大で地方経済は大きく減速しています。活動・集会の自粛により、全国から観光客の集まる地域イベントは相次ぎ開催中止となり、鉄道、バス、ホテル、旅館、飲食、小売業を中心に地元企業は大幅な減収を余儀なくされています。これにより市財政においても、税金などの収入減や、さらなる感染予防対策や生活支援などの歳出増が見込まれることは確かでしょう。これらに影響される財政支出から、将来にわたっての考え方を伺うものです。

(1) 感染症対策が与える財政的影響について

ア 本年度の市税納入等の猶予、税収入の減少はどの程度予想されるのか

イ この状況は数年続く可能性が大きく市の資金繰りにかなり影響あると思われるが、対策はできているか

ウ 経済活動における経済的諸支援策だけでなく、医療体制の構築さらには、文化的な活動の継続に積極的な予算編成を考えられないか

(2) 中長期の施策に与える影響について

ア 今後のダイヤモンド構想に伴う、焼津駅周辺・焼津漁港周辺拠点整備基本構想における事業を始めとして、今後20年間の公共施設の更新を含めた構想は総額いくらの支出となる予想なのか。その資金繰り、予算配分等は確実にできているのか

イ 新しい生活様式の定着に伴い、公共施設等の構造、あり方などにも変更が必要となり、現在予定しているもの、今後予定する、各種地域整備事業のあり方や、予算計画などに影響が出ると思うがいかがか。

これを機会に根本的な見直しをしてはいかがか

9 河合一也 議員（質問方式 一問一答）

答弁を求める者 市長、教育長

1 新型コロナ対策による学校休業の影響と今後の対応

(1) 学校の再開後について

ア 再開後、長い休業の影響はあったか。不登校傾向の児童・生徒は例年に比べてどうか

イ 新型コロナ感染症への心配があつて登校を控えさせる家庭はあるか。また、その対応は

ウ 呼吸器疾患のある教員などへの配慮はあったのか

エ 学校再開支援事業として各学校で整備する消耗品や備品等の準備状況を伺う

(2) 今後の対応について

ア 授業の未履修分の補いをどうするのか

イ 中学部活動の現状と今後の見通しはどうか

ウ 今年度の学校諸行事、また夏以降に延期した学校行事の実施の有無をどのように判断するのか

エ 今後再び休校になる場合の規準はどのように想定されているか。あわせて、感染者発生の場合や、濃厚接触者となる児童・生徒の存在が明らかになった場合の対応を伺う

2 第2期焼津未来創生総合戦略における働ける場の創出

(1) 第1期焼津未来創生総合戦略の総括として

平成27年に策定された焼津未来創生総合戦略について

ア 令和元年度で5年間の期間が終了したが、総括した結果はどうだったか

イ 戦略を進めた結果、大きな成果のあった具体的なものはあるか

ウ 基本目標のうち「しごとをつくり、安定して働けるようにする（雇用）」における、「安定して働ける場の創出」の施策評価はどうだったか

(2) 第2期焼津未来創生総合戦略について

第2期の基本目標「しごとをつくり、安心して働けるようにする（雇用）」のうち、施策の基本的方向1「安心して働ける場の創出」における、企業誘致、創業、事業承継に係る施策の実施、今後の見通し、情報発信などについて伺う

ア 企業誘致について

(ア) これまでの成果を踏まえ、今後の見通しについて

(イ) 取り組み内容について

イ 創業（起業）について

(ア) これまでの成果を踏まえ、今後の見通しについて

(イ) 支援策について

ウ 事業承継について

(ア) 市内事業者の事業承継の実態や課題を把握しているか

(イ) 支援策について

エ 企業誘致、創業、事業承継の情報提供について、どのように情報発信し成果の

10 川島 要 議員（質問方式 一問一答）

答弁を求める者 市長、教育長

1 出産・子育ての支援対策

(1) 「新生児特別給付金」を創設して、出産・子育て支援！

新型コロナウイルスの緊急経済対策として、全国全ての人に1人あたり10万円を一律給付する「特別定額給付金」は、本年4月27日時点で住民基本台帳に登録のある人を対象に支給され、大変に喜ばれた。

新型コロナウイルス感染拡大の中で、出産や産後の育児などに不安を抱えている妊産婦の方々は多い。

妊娠期には体調不良で料理ができず弁当を購入しなければならないケースもあって経済的負担が多いという声もある。また生まれた子どもが新型コロナウイルスに感染しないようにと注意をはらう親の負担は、4月27日以降も変わらない。

コロナ禍において、出産・育児に苦勞をしている人たちを応援し、安心して生み育てられる環境づくりをさらに支援することを目的に、市独自の新生児特別給付金として「やいづ赤ちゃん応援給付金」を創設し、4月28日から12月31日までに生まれて、焼津市の住民基本台帳への登録を条件として、新生児1人に10万円を支給し応援したいが市の見解を伺う

(2) 乳児の健診時に、液体ミルクを配布して活用促進を！

日常生活の中で液体ミルクを使ってもらい、利便性を理解し、家庭での活用や災害用備蓄を促す試み。

液体ミルクは栄養成分が粉ミルクと変わらず、常温保存が可能。お湯で溶かす必要がないため災害時でも安心して使用できるもの。利便性を知ってもらい家庭でも使っていくことで、いざという時の備蓄品にしてもらうため、検診時の配布をすべきと思うが市の見解を伺う

2 学校施設における熱中症対策の強化

体育館内の温度管理

学校教育の充実をはかることになり、児童・生徒たちへの熱中症予防対策、授業を行う教師にとっても心配が軽減されることから、体育館内の温度管理は重要なことだ。

また災害時は、市内の小中学校の体育館が指定避難所として地域住民の命を守る避難拠点にもなり、今年の台風第19号をはじめ災害時には学校体育館に避難する住民が多数いた。公民館やコミュニティ防災センターは温度管理が可能だが、現在のコロナ禍において今後の避難所での「3密」を避ける体制を考えると、スペースの広い学校体育館の活用がとても重要だ。

その意味からも体育館内の温度管理強化のためにも、エアコン設置を推進したいと思うが市の見解を伺う

3 高齢者あんしん見守り環境を推進

厚生労働省は7月17日、2019年の国民生活基礎調査の結果を発表した。介護の分野の調査では、要介護者と、同居する主な介護者との組み合わせを年齢別に分類すると、65歳以上同士が過去最高の59.7%に上った。そのうち75歳以上同士の割合も33.1%とこれまでで最も高くなり、同省は高齢化を背景とした「老老介護」が進む実態が浮き彫りになったとみている。

(1) 高齢者世帯の実状

本市における高齢者世帯の実状と傾向について伺う

- ア 子らとの同居世帯数
- イ 高齢者ひとり暮らし世帯数
- ウ 高齢者夫婦のみ世帯数

(2) 認知症高齢者の行方不明者への対策

昨年1年間に全国の警察に届け出のあった認知症や認知症の疑いが原因の行方不明者は、前年比552人増の1万7,479人に上った。警察庁が統計を取り始めた2012年以降で過去最多となり、この7年で1.82倍に増加している。

認知症の行方不明者を出来るだけ早期発見することが重要だが、大きな課題が浮き彫りになっている。これは家族だけでは限界があり、国や自治体、民間企業、地域住民などによる連携を強めることが重要だ。

全国各地では、警察と民間企業や自治体との情報共有ネットワークの構築など早期発見に向けた連携を強化し、GPS機器の貸与、QRコード見守りシールなど様々な取り組みを展開している。

本市において、認知症や認知症の疑いが原因の行方不明者の早期発見に対する取り組みを伺う

- ア 認知症高齢者数
- イ 行方不明者の通報件数
- ウ 早期発見への具体的な対策

11 内田修司 議員（質問方式 一問一答）

答弁を求める者 病院事業管理者

焼津市立総合病院の新型コロナウイルス感染症対応等について伺う

新型コロナウイルスの感染拡大は日本全国を混乱に陥れ、人の移動の制限に伴い、経済活動に大きな影響を及ぼしております。第一波については、本年4月から5月の緊急事態宣言期間を経て、6月頃に一度落ち着きを見せたものの、7月より第二波とも言える感染拡大状況となり、先行きは不透明な状況です。このウイルスの特効薬や有効なワクチンの開発が行われておりますが、安心できる状態となるにはまだまだ先と予想され、さらにこの秋冬にはインフルエンザの同時流行も心配されております。

そんな中で、焼津市立総合病院は2次救急医療を担い、市民の生命を最後の砦で守ってくれており、頼みの綱であります。新型コロナウイルス感染症対策として玄関前での検温、入院患者への面会制限、電話での再診による処方箋発行など様々な対応を行っていただいております。市立病院が安定した医療体制を将来に渡って継続できるように、現在の状況および将来について伺います。

(1) 新型コロナウイルス感染症対応について

- ア 救急等で新型コロナウイルス感染症が疑われる患者が来院した場合の対応について伺う
- イ 新型コロナウイルス感染者が入院患者もしくは医師または看護師で出た場合に
対応する手順は整備されているか
- ウ マスクなどの感染症防護用機器材・消耗品の整備・備蓄状況は十分か
- エ 入院患者への面会制限に対して、患者および家族へのケアはできているか

(2) 新病院建設の進捗状況などについて

- ア 新病院建設の現在の進捗状況について伺う
- イ 新病院建設の現在の基本設計工程作業における新型コロナウイルス感染症の影響はあるか

(3) 現病院の状況について

- ア 現時点での医師、看護師の充足状況、時間外勤務状況はどうか
- イ 本年度に入ってから、一般の外来患者数の推移はどうか（前年比でどのくらいマイナスか）
- ウ ロボット手術用医療機器「ダ・ヴィンチXi」の導入稼働状況、効果について伺う
- エ DWIBS法による総合がん検診とMRIによる乳がん検診の昨年度の実績と本年度の動向について伺う

12 安竹克好 議員（質問方式 一問一答）

答弁を求める者 市長

コロナ禍を乗り越え、地域経済を守るための新たな取り組みについて

(1) 地域へのキャッシュレスの推進について

- ア 7月臨時議会で計上した「地域キャッシュレス推進事業」の概要について伺う
- イ 本市として、どのような効果を想定しているのか伺う
- ウ 地域へのキャッシュレス推進と並行し、行政窓口や公共施設もキャッシュレスを進める必要があると考えるが現状を伺う

(2) 「やいづワーク推進事業」について

- ア リモートワーク環境の構築をする事業と伺っているが、概要を伺う
- イ この事業の目指すべきビジョンと効果を伺う
- ウ 目指すべきビジョンまでのロードマップをどのように描いているのか伺う

(3) インターネットでの地域物産販路拡大について

「ふるさと納税」は、市内事業所の販路強化へ向けた有効な施策だと考えるが、今後の展開を伺う